

農地利用最適化 推進へ

意欲的な目標 設定

全委員が活動記録の毎月提出に挑戦！

京丹波町農業委員会

人・農地関連施策の見直しと農水省ガイドラインの発出に伴い、本年度から全国の農業委員会で農地利用最適化の意欲的な目標を設定し、各委員も活動の記録と自己点検を求められている。

これを受けて、府内の各農業委員会では、4～5月の総会で「新たな活動目標」を設定し、委員が日常活動を記録して事務局と共有する取り組みがスタートしている。

京丹波町農業委員会は、4月8日の農地利用最適化推進協議で新たな最適化推進指針を協議

し、新様式活動記録簿の記入方法を確認。全委員の合言葉（※）と活動目標（毎月7日以上の活動十活動記録の毎月提出）を申し合わせた。

5月上旬までに提出された4月の活動記録簿では、23日間活動した最適化推進委員を筆頭に、各委員が目標以上の活動を達成。新規就農者の相談対応や、認定農業者の委

員が町内各地の借受農地での発生防止などに活用していく。

「見える化」につながっている。

5月6日の定例総会で、委員が活動記録を取り組み状況の報告と意見交換が行われた。

隣の地区の営農組合に加入した。約1畝の水田の刈り取りと乾燥調整の作業料金は35万円。秋作業で10日間（約11万円）働いた労賃（約11万円）と相殺して精算完了。営農組合の色選別機のおかげで、玄米は一等米価格

で販売できた。▼従来、地域の水田は、先輩農家が縮小した面積を後輩農家が引き受けて守ってきた。しかし、コメ代が安くなり、この流れが途絶えた。地区内に水田を引き受ける後輩が見当たらず、個人経営では農業を引継ぎたいが、営農組合と受けることは可能だと実感した。▼

近所の地区でも、大規模農家を含めた全農家が共同で収穫・乾燥調整施設を整備する検討を始めた。旧来の共同作業組合ではない「持続可能な発想」で地域の水田を守る動きになると期待している。（政）



5月6日の総会に活動記録を持ち寄った農業委員（京丹波町）

月平均10日の活動目標を設定！

八幡市農業委員会

八幡市農業委員会は、5月6日に新様式「活動記録簿」の変更点や記入方法の研修会を開催し、全国農業会議所が提起し

た方針を受けて、「全委員が月平均10日活動する」という目標を設定した。

併せて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

頑張る「地区連」

笠置町では、農業委員会（農業委員10人）が京丹波町農業委員（人・農地プラン）の話し合いを推進し、プランを実行化の取り組みを進めている。

人・農地プランをリード アンケート結果・地図で話し合い

問谷地が多く、効率的な営農は困難で、機械が壊れると離農や耕作放棄に直結するため、全農家の正確な意向把握から着手した。事務局が農家アンケートを全農家（106戸）に実施し、農地プラン（人・農地プラン）の話し合いを進めている。

若者が町外に流出し、過疎・少子高齢化が進む笠置町では、高齢農家が水稲や花菜の主な担い手となっている。狭小な山

路北部切山南部、西側に郵送し、回答がない場合は農業委員が個別に提出を働きかけて、80戸（75%）から回収。町内を四つの地区（東部・飛地区別に整理して「話し合い」を実施した。

参加した農家からは、「生活環境を守るため農地を管理している」「農

地を守るには非農家の協力が必要」など、多数の意見が集まった。それらを踏まえて、プランの協力を得ながら、生活環境と農業をみん

に決定した。農業に関心のある非農家や半農半Xを志す移住者に農地や農機を貸し出し、家庭菜園から始める農業の担い手を確保することもプランに盛り込んだ。（合）

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

京都

京都府支局 京都府農業会議

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 府庁西別館内 075-441-3660

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

現場の想い

地域の水田を守る

▼10年以上使った自家用コンバインと乾燥機、稲摺り機を処分して、

個人経営から営農組合へ

持続可能な発想で水田を守る

でも、大規模農家を含めた全農家が共同で収穫・乾燥調整施設を整備する検討を始めた。旧来の共同作業組合ではない「持続可能な発想」で地域の水田を守る動きになると期待している。（政）

特産「原木しいたけ」の総合学習に挑戦

南山城小学校 × 椎茸生産組合連絡協議会



生産農家が成型駒の打ち方を指導する 植菌体験（4月11日）

植菌した原木は、協議会で生育管理し、今秋の総合学習で収穫を体験してもらう予定だ。

参加した児童らは「植菌でしいたけが生えてくるなんて不思議で、今から秋の収穫が楽しみです」と興味を示していた。（南山城村農業委員会）

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

植菌と収穫を3・4年生が体験

南山城村椎茸生産組合連絡協議会では、子どもたちに地元産の原木しいたけの植菌作業と収穫体験を持ってもら

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

女性委員が“つないで発信”

一昨年8月に農業委員部城陽支部長として、毎日に就任しました。J.A. 日、部員の仲間と、五里都やましろ女性部の加工五里市（J.A. 京都都やましろ農産物直売所城陽店）併設の加工場で調理していま

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

加工部員の皆さん



話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

直売所で加工食品づくり

「五里五里市」9時30分～16時、年中無休（年末年始、特休日除く）（城陽市農業委員会・村田清美委員）

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。

話を聞いて、8月（地域の話し合い参加月間）、10月（利用意向調査月間）、3月（1年の活動共有月間）の3回、活動強化月間を設定するなど、最適化活動を強化する取り組み方針を決定した。